

- 問1 京都市では、歴史的な街並みや伝統的な雰囲気を守るために、建物の高さやデザイン、屋外広告物の色などを条例によって厳しく規制しています。この取り組みの主な目的として最も適切なものはどれですか。 （2022年 青森県公立入試 類似）
1. 商業施設の誘致を活発にすること 2. 街全体のバリアフリー化を進めること 3. 大規模な再開発を促進すること 4. 歴史的な景観を保全すること
-
- 問2 江戸時代の大坂が「天下の台所」と呼ばれるほどの商業・物流の中心地となった理由として、当時の社会の仕組みを正しく説明しているものを選びなさい。 （2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 大坂周辺で大規模な新田開発が行われ、日本で生産される米の半分以上が大坂産となったから 2. 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資を集めたから 3. 鎖国体制下において、大坂が唯一の外国貿易港として認められ、海外の珍しい品物が大量に流入したから 4. 幕府が大坂を政治の拠点と定め、全国の商人に大坂への移住と独占的な商売を強制したから
-
- 問3 和歌山県南東部、紀伊半島に位置する新宮地域は、背後に険しい山地を抱え、熊野川の河口付近に市街地が形成されています。この地域の伝統的な産業の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. リアス海岸の複雑な地形を利用して、真珠やカキの養殖業が地域経済を支えている。 2. 熊野川の水運を利用して、上流の山地から運ばれた木材を加工する製材業が発展した。 3. 広大な平野と温暖な気候を活かして、輸出向けの施設園芸農業が発達した。 4. 大規模な港湾施設を整備し、海外から鉄鉱石を輸入する鉄鋼業が中心となっている。
-
- 問4 和歌山県において、ミカンの栽培が盛んに行われている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 冬の積雪から果実を守るために、ビニールハウスなどの施設を利用した促成栽培が中心となっている。 2. 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。 3. 冷涼な気候を好む果樹であるため、標高の高い山地や高冷地を拓いて大規模に栽培されている。 4. 夏の季節風による多雨と、広大な平野部にある肥沃な土壌を利用して栽培されている。
-
- 問5 琵琶湖の南端付近から流れ出し、堤防が整備された都市部の住宅地を通りながら複数の支流と合流して大阪湾へ向かう淀川水系の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. 日本で最も流域面積が広く、広大な関東平野の農業用水を確保するために大規模な分水嶺が形成されている。 2. 日本で最も長い河川であり、上流部の雪解け水を利用した発電や米作りが流域の主な産業となっている。 3. 九州地方を横断する日本有数の急流河川であり、古くから「筑紫次郎」と呼ばれ激しい洪水を引き起こしてきた。 4. 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利用を安定させている。
-
- 問6 兵庫県たつの市周辺の約50年間の変化について、昭和48年と令和2年の1:25,000地形図を比較・分析した際、北西部に高速道路のインターチェンジが新設され、それに伴い周辺の土地利用が大きく変化していることが確認できます。このような交通網の整備が地域社会にもたらす一般的な影響として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 千葉県公立入試 類似）
1. 高速道路へのアクセスが向上することで、広域的な移動や物流が容易になり、周辺に住宅地や工場などの開発が進む。 2. 自動車利用者の騒音を避けるため、インターチェンジ周辺の住宅地はすべて撤去され、広大な森林へと復元される。 3. 高速道路の開通によって鉄道の利用価値が完全になくなるため、既存の駅や線路はすべて廃止され、農地に転換される。 4. 公共施設の利便性を確保するため、市役所や郵便局、小学校などのすべての施設がインターチェンジの敷地内に移転・集約される。
-
- 問7 近畿地方には国宝や重要文化財の指定件数が多く、宿泊客数や宿泊施設数も多い府県が複数存在します。こうした観光資源が豊富な地域において、情報通信業が地域の産業に果たしている役割と背景について述べたものとして適切なものを選びなさい。 （2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. 観光客向けの特産品を増産するために、農業に従事する人々をすべて情報通信技術者に転換させ、食料生産を自動化することを目指している。 2. インターネットを活用して観光地の情報を世界に発信したり、予約システムや多言語案内を充実させたりすることで、サービス業の利便性を高めている。 3. 観光地の景観を維持するため、林業の専門家と連携して山林の伐採や植林をデジタル技術で完全に代行することが主な目的となっている。 4. 宿泊施設を建設する際に、建設業と協力して伝統的な木造建築を最新の鉄筋コンクリート造に建て替えるための技術提供が主な役割となっている。
-
- 問8 三重県の志摩半島周辺で見られる「リアス海岸」という地形の記述と、そこでの産業の特色を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 （2021年 東京都公立入試 類似）
1. 川が運んできた土砂が河口に堆積してきた平坦な地形で、大規模な稲作や交通網の整備に利用されている。 2. 海岸沿いに砂浜が続く平坦な地形で、水はけの良さを生かしてメロンなどの施設園芸が行われている。 3. 海底が隆起してできた階段状の地形で、日当たりが良いためみかんなどの果樹園として利用されている。 4. 岬と入り江が複雑に入り組んだ地形で、波が穏やかなため真珠などの養殖業に利用されている。
-
- 問9 滋賀県の人口動態に関する将来推計において、1975年から2045年にかけての統計を確認すると、2010年頃をピークに総人口が減少に転じることが予測されています。また、2045年には65歳以上の老年人口が0歳から14歳の年少人口の約2.7倍に達するという推計が出ています。このように、子供の数が減り、高齢者の割合が非常に高まる社会現象を何といいますか。 （2022年 滋賀県公立入試 類似）
1. 人口爆発 2. ドーナツ化現象 3. 少子高齢化 4. 過疎化
-
- 問10 千里ニュータウンの世帯数と一世帯あたりの平均人員の変化について、2010年から2020年にかけての統計では「世帯数は増加に転じているが、平均人員は一貫して減少している」という傾向が見られます。このデータから読み取れる、現在のニュータウン居住者の特徴として正しいものを選んでください。 （2026年 三重県公立入試 類似）
1. 世帯数が増加しているのは、高齢者が一人で住むための戸建て住宅が、かつてない規模で新築され続けているためである。 2. 再開発によるマンション建設などで住居の総数は増えているが、単身世帯や核家族などの小規模な世帯が増加している。 3. 世帯数が増加しているため、一世帯あたりの人員も比例して増加しており、地域全体で子供の数が急増している。 4. かつてのような三世代同居などの大家族世帯が再び増加したことで、住宅一戸あたりの密度が極めて高くなっている。
-
- 問11 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖と、その周辺地域との関わりについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 （2021年 山口県公立入試 類似）
1. 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える貴重な資源となっている。 2. 日本海側に面した大規模な潟湖であり、古くから東北地方との交易の中継地点として発展してきた。 3. 静岡県に位置する汽水湖であり、周辺ではうなぎの養殖や楽器の製造などの工業が盛んである。 4. 滋賀県内のみで完結する農業用水として利用されており、他府県の工業地帯へ供給されることはない。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 歴史的な景観を保全すること	京都市には多くの歴史的建造物が存在し、その街並み自体が重要な価値を持っています。そのため、近代的な高層ビルや派手な看板によって古都の雰囲気が増えたり損なわれないよう、厳しい景観条例を定めて建物の高さやデザインを規制しています。誤答の「再開発」や「バリアフリー」もまちづくりの重要な要素ですが、建物の高さや色を規制する直接の目的は景観の保全です。
問2	答え 2 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資を集めたから	当時の大名たちは、武士に支払う給料や参勤交代の費用を捻出するために、領内の米や特産物を現金化する必要がありました。瀬戸内海などの海上交通の利便性が高かった大坂には多くの蔵屋敷が並び、専門の商人を通じて物資が全国へ流通したことが、大坂が商業の中心地となった主な要因です。
問3	答え 2 熊野川の水運を利用して、上流の山地から運ばれた木材を加工する製材業が発展した。	新宮地域は、日本有数の多雨地帯である紀伊山地を背後に持っています。かつては道路網が未発達であったため、山で伐採された木材は熊野川の水流を利用した「筏流し」によって河口の新宮まで運ばれました。この地理的条件により、河口付近では古くから製材業が盛んになりました。
問4	答え 2 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。	ミカンの栽培には、年間の平均気温が高く、冬に氷点下になりにくい温暖な気候が必要です。和歌山県では、日当たりの良さに加え、水はけが重要視される果樹栽培の特性に合わせ、山が海に迫る地形を利用した傾斜地での栽培が発達しました。これらは品質の良いミカンを育てるための重要な地理的条件となっています。
問5	答え 4 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利利用を安定させている。	淀川水系は、巨大な貯水能力を持つ琵琶湖を水源としているため、他の河川に比べて流量が安定しているという特徴があります。これにより、下流域の大阪や京都といった大都市圏に対し、洪水被害の軽減や、飲料水・工業用水の安定的な供給が可能となっています。選択肢にある「流域面積が広い」のは利根川、「日本一長い」のは信濃川、「筑紫次郎」は筑後川の説明です。
問6	答え 1 高速道路へのアクセスが向上することで、広域的な移動や物流が容易になり、周辺に住宅地や工場などの開発が進む。	交通網の整備は、人や物の流れを変え、土地利用に大きな影響を与えます。高速道路のインターチェンジが設置されると、遠方への移動や輸送の利便性が高まるため、周辺では住宅地の造成や物流拠点、工場の進出といった開発が活発化します。たつの市の事例においても、インターチェンジの開通や鉄道網の整備に合わせて、住宅地の拡大や郵便局などの公共施設の設置が進んでおり、地域の都市化が進展したことが読み取れます。
問7	答え 2 インターネットを活用して観光地の情報を世界に発信したり、予約システムや多言語案内を充実させたりすることで、サービス業の利便性を高めている。	近畿地方のように歴史的価値の高い観光資源を多く持つ地域では、それらをいかに効率よく伝え、活用するかが経済の鍵となります。情報通信業は、ウェブサイトによるプロモーション、キャッシュレス決済、宿泊予約の最適化などを通じて観光業（サービス業）と密接に連携しています。これにより、地域の伝統的な魅力と現代の利便性が結びつき、第3次産業全体の活性化につながっています。
問8	答え 4 岬と入り江が複雑に入り組んだ地形で、波が穏やかなため真珠などの養殖業に利用されている。	リアス海岸は、起伏の多い山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、もともとの谷の部分に海水が入り込んで形成されます。この地形は入り江が深く、外海の荒波が遮られて波が穏やかになるため、いかだを浮かべて行う真珠やカキなどの養殖業に非常に適しています。
問9	答え 3 少子高齢化	日本全体と同様に滋賀県でも出生率の低下と平均寿命の伸びが進行しています。統計上、総人口が減少局面に入らないうちで、働く世代である生産年齢人口や年少人口が減り続ける一方、老年人口が増加し続けることで、社会保障制度の維持などが課題となるこの現象は、現代日本の地理・公民分野における最も重要な社会課題の一つです。
問10	答え 2 再開発によるマンション建設などで住居の総数は増えているが、単身世帯や核家族などの小規模な世帯が増加している。	世帯数が増加している一方で平均人員が減少しているという事実は、一世帯あたりの人数が少なくなっていることを示しています。これは、再開発によって供給されたマンションに、共働きの夫婦や単身者、あるいは高齢者の単身世帯など、少人数で暮らす世帯が多く入居している現代の都市化の傾向を反映しています。
問11	答え 1 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える貴重な資源となっている。	琵琶湖から流れ出る水は、瀬田川、宇治川、そして淀川へと名前を変えながら大阪湾へと注ぎます。この過程で、京阪神大都市圏の膨大な人口の生活用水や、阪神工業地帯の工業用水として活用されており、近畿地方の経済・生活基盤において不可欠な存在です。なお、選択肢にある霞ヶ浦は茨城県、浜名湖は静岡県、中海は島根県と鳥取県にまたがる湖です。